

# KEYAK!

5月号

入学式、入園式の時には桜が満開！どこかとっくにピークを過ぎているのがもはや当たり前になっているのは皆さんご承知だと思いますが、つくしんぼも数年前までは始業式のころにはありました。ポッと出たつくしんぼの手あそびがリアルでタイムリーだったわけですが、今ではすっかりスギナという植物に変化し除草剤の代名詞にしかありません。「春」が早くなったのか長くなったのか・・・

今年、かなり早いのが「タケノコ」です。ゴールデンウィークを待たずにすでに竹になり始めています。年長が毎年タケノコを剥きまくってタケノコ観察を行うのですが、竹になっちゃうと割るしか手がありません。楽しくなさそう。心配です。心配ついでにタンポポもすごいです、綿毛の量もハンパないです。来年地面がタンポポで埋め尽くされたら楽しそうだけど絶対やっかいです。しかし、ふと、タンポポの花から綿毛に変身する過程を見たことがないことに気付きました。初めてよく観察してみて、ほほう、となりました。

今、年長さんたちのタマゴからヒヨコも同じような状況だと思います。自然の営みや神秘的とも言える変化。神秘的に触れると、これからのものの見方が変わってくると思うのです。すぐにスマホで検索、も悪くはないのですが、なぜ？どうして？といった不思議をまず頭の中で考えて想像してみてもよいのではないのでしょうか。子どもたちには、ヒヨコが生まれたバンザイ、もよいのだけれど、「生まれたこと」より「生まれること」を大切にしたいな、と考えます。表面上より、子どもたちの一人ひとりに湧き上がってくるものを大事にする「やりとり」ができたらいいなと思っています。

当たり前すぎて、目の前を通り過ぎていってしまうことって沢山あるはず。そんな普段目の前にある当たり前の中のフシギを子どもたちに投げかけたり、そんな子どもたちの声を拾ったりしながら、あーでもないこーでもないとこの季節を楽しんでいたら、ゴールデンウィークも意外と近場で楽しめる！かもしれませんね。

「けやきのこ」の歌詞、♪おおきくのびる、けやきのこ。伸ばしたいのは、大きくなって残る「感性」だ！ \*と言い切っているのかどうなのか・・・すぐ心配

## 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）

3歳

- ・ 一人遊びを充分楽しむ
- ・ 友達の名まえやマークに興味をもつ
- ・ みんなでいるところで遊んだり、見たり聞いたりすることの楽しさを知る
- ・ 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でやろうとする

4歳

- ・ 園生活のリズムになれて活動や遊びにすすんで参加しようとする
- ・ 自分の意見が言える(うれしいことや悲しいことを自分なりの言葉で表す)
- ・ 相手のことも聞こうとする

5歳

- ・ 自分がしたいと思う遊びをくりかえし楽しむ
- ・ 今日、明日何をするという短期の目的だけでなく、比較的長期の見通しが漠然とでもわかって行動できる
- ・ 互いに言いたいことが言える(認め合い)